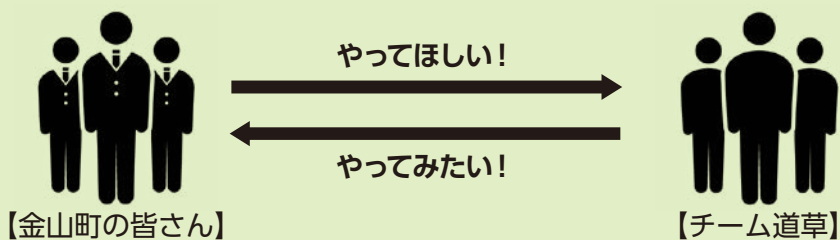


私たちがやっていること!



学生の「やってみたい!」×地域の「やってほしい!」を繋いでいます



町内小中学校での学習支援やイベント運営の補助、地区行事や事業者さんの手伝いなどを行っています。いずれも町の皆さんの「やってほしい!」に応えるべく活動しています!

- 具体的には? /
- まちなか難巡り
 - かねやま街市
 - ふれスポ大会
 - 神室雪まつり
 - めごたまマルシェ
 - めごたま夏祭り
 - めごたま園運動会
 - 有屋小学習支援
 - 金山中学学習支援
 - 旧朴山分校活用イベント
 - 山形ふるさとCM制作
 - エヌシップさんと農作業
 - 田茂沢地区おさいとう

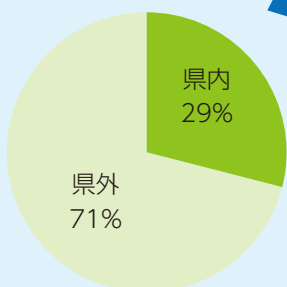
自然がいっぱい
街並みがきれい
地域があったかい
みんなイキイキしている
あいさつが返ってくる
美味しいものがたくさん
気前がいい
何度も来なくなる

言わせてください!

「金山の好き」



Q1. 出身地は?

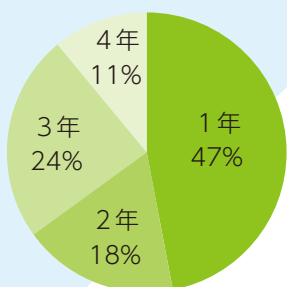


チーム道草のこと教えます!

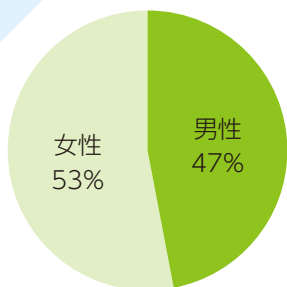
- 結 成: 平成25年3月
 - 所属数: 133名
- ※令和元年12月時点



Q2. 学年別では?



Q3. 男女比は?



チーム道草の理念

発足から1年経ったとき、サークルとしてひとつの理念にたどり着きました。それは、「学生の「やってみたい!」と地域の「やってほしい!」を結び付ける」。学生が抱く夢や興味と、地域が持つ想いや地域資源を繋いで、継続的で発展的な関係を築きたいという思いがこもっています。最終的な目標は地域とひとつのチームになること。そのために、チーム道草は進化を続けます。町外で町の魅力を発信するイベントの開催や高校生とのコラボ企画など、今までの活動から一歩先ゆくアイデアも模索中なのです。

金山と、そこに住む人が好き。だからこそ地域の期待に応えたい——。これからもチーム道草は、金山でたくさんの「楽しい」を創っていきます。



彼らが企画したKaneyama Lovers Fesでの一幕
大人も子どもも目いっぱい楽しんでいました

【写真提供】Photo DAISUKE KURIHARA

交流から生まれた活動

地域の方々との繋がりから、多くの活動が生まれました。その代表例が、町内の小中学生を対象とした学習支援。サークルの発足から程なくして、金山小学校の運動会を訪れた学生と先生との何気ない会話から生まれた活動です。12月7・8日には、今年2回目

当初の目標は、「金山を知り、もっと楽しむ」。山形大学の助成金「元氣プロジェクト」の支援を受けるなどして、町への訪問頻度を増やし、地域活動の幅を広げていきました。ここからチーム道草は、地域にとって欠かせない存在に成長していきます。

はじまりは「道草ぶんころり」

さかのぼること約8年。平成24年の春、山形大学集中講義フィールドワーク最後の金山町プログラムにおいて、ある学生たちは金山町と運命の出会いを果たします。彼らは、自然の雄大さや人々の温かさに感銘を受け、講義外で自主的に活動を始めました。稲刈りや地域の伝統行事に参加するうち、「地域のひととの繋がりを絶やしたくない」と思うように。平成25年3月、講義の拠点となった道草ぶんころりから名前をとり、15名の同志によってチーム道草は誕生しました。



特集

みちくわしよろい!

山形大学地域連携型サークル「チーム道草」。

平成25年に設立されたこのサークルの活動拠点は、ここ金山町。

本特集では、今や100名を超す学生が所属するチーム道草がたどってきた軌跡と、見知らぬ地で、地域のためにひた走る若者たちを紹介します。

企画③
みちくさ マップ
道草 MAPS



岡崎 空歩さん（3年）

大学生が感じる金山の魅力を形に！

毎年春に、金山の魅力を感じてもらえるよう、新入生向けの町内ツアーを実施し、金山の名所をウォークラリー形式で見てまわっています。

その中で出会ったオススメの場所や人、モノを若い人にも見てもらえるようピクニックマップ風にまとめました。大学生目線で、町の魅力を「形」として残すことができたと思います。

一連の事業で最初に着手したのがマップだったので、事業の進め方など苦労した点もありました。しかし、町内の各所に置いていたマップがすぐに無くなる程人気だと聞いて、地域の皆さんの反響の大きさがすごく嬉しかったです。

チーム道草と金山町、それぞれの「楽しい」が合わさったマップとなっています。役場などにありますので、まだご覧になっていない方はぜひ見ていただきたいです！



▲町中心部をメインに手書きで仕上げました！

企画②
みちくさ トラベル
Michikusa Travel



熊谷 穰さん（3年）

色んな金山が盛りだくさんのツアー

活動を通して多くの人に出会い、町を五感で感じ、金山町が大好きになりました。愛する金山の魅力をもっとたくさんの人に伝えたい！そんな思いから10月19～20日の2日間、町を巡るツアーを開催しました。チーム道草のメンバーを含め、町外から18名に参加いただきました。

町名の由来ともされる谷口銀山を探検したり、美しい紅葉を観賞したり、金山ならではの街並みを歩いたり、美味しいご飯屋さんやおしゃれなカフェを巡ったり、自分たちでうどんを一から作ったり…。とにかく盛りだくさんの内容でした。それぞれの場面で、たくさんの楽しい、美味しい、美しいを感じていただけたツアーになったと思います。参加してくれた方からは、「楽しい2日間になった」「また金山町に遊びに行きたい」などのありがたい言葉をいただきました。このような参加者の声は、私たちチーム道草にとって、本当に嬉しいものでした。



④神室ダムでパシャリ！紅葉真っ盛りの神室の山々にみんな感動！ ⑤谷口銀山の散策はコウモリに注意。「道草いきま～す！」

みちくさしようよ！



「金山が好き」を伝えたい 感謝の気持ちをプロジェクトに

サークル結成から7年目。メンバーの多くは、ある考えを抱いていました。「自分たち以外にも、もっと多くの若い人たちに金山の魅力を発信したい——」。議論の末、彼らの導き出した答えが“かねやまラヴァーズプロジェクト”。やまがた若者チャレンジ応援事業の支援を受けて、3つの企画を立ち上げました。ここでは、それぞれのリーダーに想いを聞いていきます。

企画①
かねやま ラヴァーズ フェス
Kaneyama Lovers Fes



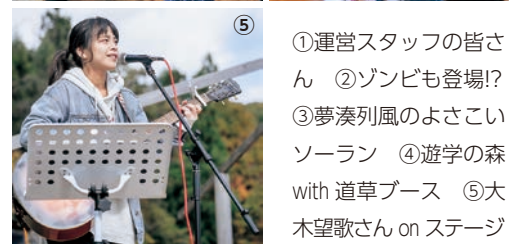
お世話になっている金山町に何か恩返しをしたいという思いから、みんなが笑顔になるイベントを企画しました。

何か大きなイベントがしたいとずっと考えていたので、それが叶ったことがとても嬉しく思います。写真のどこを切り取ってもみんなが笑っていて楽しそうで大成功のイベントになりました。初めての経験ばかりで、うまくできずに悩んだこともありましたが、

いつもお世話になっている皆さんにイベントを通して恩返し
たくさんさんの縁を改めて感じて、
さらに金山のことが好きになりました！

近藤 まりもさん（3年）

が、その時の苦しみを忘れてしまいうくらい、楽しかったというプラスの気持ちが大きいんです。改めて、金山は人も町もあたたかい、本当に出会えてよかった場所だと感じました。これからも大好きな金山で大好きなみんなと活動していきます！



①運営スタッフの皆さん ②ゾンビも登場!? ③夢奏列風のよさこいソーラン ④遊学の森 with 道草ブース ⑤大木望歌さん on ステージ

【写真提供（①～⑤）】 Photo DAISUKE KURIHARA



道草ぶんこう運営委員会
須藤 幸一さん

Interview ②

サークル発足のきっかけとなった道草ぶんこうを拠点に、フィールドワークの学生を長く受け入れています。縄ない・山菜採り・自然観察・そば打ちなど、たくさんのかを体験してもらいました。

「のんびり」が地域学習の醍醐味。純粋に楽しんでもらいたい一心で、学生に難しいことは求めませんでした。それが、金山を気に入ってもらえる一因だったかもしれません。大学側の要望で、来年からの受け入れは打ち切りとなり、運営委員会も解散。しかし、個人的な繋がりが切れることはありません。皆さんが社会に出てからも「ホッ」としたいときは、また道草ぶんこうを訪れてほしいと思います。



チーム道草がたどる軌跡



【写真提供】Photo DAISUKE KURIHARA

それは金山と共に——

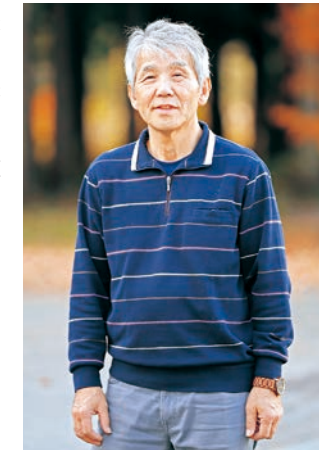


Facebookでチェック

日々の活動を更新中！皆さんの「やってほしい！」をメッセージでお寄せください！

Interview ①

森の案内人会
三上 俊一さん



チーム道草との出会いは、遊学の森での山形大学フィールドワークがきっかけ。今では年の離れた友達のようにプライベートでも楽しく交流しています。

道草のみんなの「金山のために何かをやりたい」という気持ちは、地域にとって本当にありがたいことだと思います。大きなイベントだけでなく、地区の小さな祭りなどにも来てくれます。大いに盛り上げてくれて、地域の思いにも応えてくれます。

受け入れる側も「何かしてやれないか」という気持ちが大切だと感じています。せっかく多くの若者が金山に来てくれているのだから、一生のファンになってもらえたら嬉しいですね。

チーム道草唯一の金山町出身者

皆さんの「やってほしい！」を教えてください

私は、現メンバーで唯一の金山町出身者です。チーム道草と出会いは中学時代。中学3年生時の学習支援で先輩方に勉強を教してもらいました。その時は「こんな活動をしている大学生がいるのか」程度しか思っていなかったのが、まさか自分が所属することになり、ましてや代表を務めることになるなんて思ってもいませんでした。

私のモットーは「みんなで楽しく！」。先輩からいただいた「自分たちのスタンスを確立して、伝統なんか壊してほしい」というエールを

胸に、できることを地道にやっていきたいと思っています。主に最上地域、特に金山町での地域活動をメインにしているサークルであるため、出身者としては正直プレッシャー。私自身まだまだ金山のことを知らないと感じています。地元であるメリットを生かしつつも、客観的に金山町を見つめ直す機会にもなればと思っています。

チーム道草はまだまだ可能性を模索中です。金山の皆さんの「やってほしい」をもっともっと教えてほしいと思います！



チーム道草 代表
千川原 香林さん



チーム道草 前代表
菊地 航平さん

1年間で金山を訪れた回数は60回

「応援しているよ」の声が活動の励みでした

チーム道草の6代目代表を務めました。昨年の山形ふるさとCM大賞のスギオ役が私です。スギオの方が、町の皆さんには浸透しているかもしれません（笑）。

数えてみたら、代表をしていた1年間で60日間も金山町を訪れていました。我ながらよくこんなに来たなと感じています。でも、「今日行きたくないな…」と思ったことは一度もありません。それは金山の皆さんがいつでも温かく迎えてくれたから。ニックネームで呼んでくれる子どもたちや、気さくに話しかけてく

れるおじいちゃん・おばあちゃん存在が、いつしか活動の励みになっていました。年賀状をくれる方もいて、金山町は第2の故郷だと心から言える存在です。

金山での活動を通して、私たち学生も人間として成長しています。地域の皆さんと触れあうことで、初々しかった新入生も自主的に住民の方と交流できるようになりました。今では「応援しているよ」と声をかけていただけるようになり、ちょっとした私たちに期待してくれているのかなと嬉しく思います。